



思斉館中学部だより

～「見賢思斉」の精神で たくましく未来を切り拓く
児童生徒の育成～

学校だより No.10
令和8年1月8日
思 斉 館 中 学 部
校長 馬場崎 壮彦

【学校教育目標】「見賢思斉」の精神でたくましく未来を切り拓く児童生徒の育成

生徒一人一人が、「見賢思斉」の精神を大切にして、自分のよさや可能性を見つけ、伸ばし、夢や目標の実現に向かって一歩一歩踏み出すための力（生きる力）を育てていきます。

次年度に向けて、一日一日を大切に過ごしましょう

新年を迎え、本日1月8日（木）に始業式を行い、3学期がスタートしました。これからは一年間のまとめを行い、次の学年への準備を進める大切な時期です。特に9年生は、卒業・進学という大きな節目を迎えます。一日一日をより大切に、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

保護者・地域の皆様方には、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。引き続き、手洗い・うがい・マスクの着用など、インフルエンザ等の感染症防止策についても、規則正しい生活とあわせて、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

始業式では、「次年度に向けて一日一日を大切にすること」について話をしました

1月8日（木）の始業式では、「4月からのよりよいスタートに向けて、一日一日を大切に、今年度の締めくくりをしよう」と話をしました。以下、その要約です。

これからの期間は、次年度に向けた準備期間です。今年度の修了式までは短い期間となりますが、これまで以上に一日一日を大切に過ごしていきましょう。皆さんが物事に一生懸命に取り組む姿を、これからたくさん見せてほしいと思います。

- ・7年生は、4月から8年生となり、新入生を迎えます。思斉館の先輩として、学校を支える頼もしい存在になることを期待しています。
- ・8年生は、最上級生である9年生になります。生徒会活動でも中心となり、思斉館のリーダーとしての自覚と誇りをもった行動を期待しています。
- ・9年生は、進路実現に向けて力を発揮する時期です。中学校生活も残りわずかとなりました。希望する進路に向けて、最後まで粘り強く取り組んでください。

これまで皆さんには、次の3つを大切にしてほしいと伝えてきました。

○いのちを大切にすること

○思いやりの心を養い、思いやりをもって人に接すること

○夢や目標をもち、それに向かって粘り強く努力すること

特に3つ目の「夢や目標に向かって粘り強く努力すること」は、毎日の授業や家庭学習で、自ら進んで学ぶ姿勢につながります。そのために大切なのは「自分で考えること」です。

具体的に取り組んでいくことは次の3点です。

- ・疑問をもつこと（なぜそうなるのか、どうしてだろうと考えること）
- ・方法や手段を見つけること（よりよくするにはどうすればよいか考えること）
- ・自分の言葉で話すこと（自分の考えを自分なりに説明すること）

授業には「考える場面」がたくさんあります。家庭学習でも、自分で「考える」ことを大切にしながら取り組んでください。

「見賢思斉」の校訓のもと、思斉館の生徒一人一人が自分の「よさ」や「可能性」を伸ばし、発揮できること。そして、それらを遠慮なく発揮できるよう、お互いを認め合い、支え合う学級・学年・学校であることを期待しています。

目標達成に向けて、学習への取組を充実させましょう

9年生は高校入試を控えています。1月22日（木）の県内私立高校前期・推薦入試を皮切りに、後期入試、県立特別選抜、県立一般選抜と続きます。また、7・8年生は2月10日（火）～13日（金）での3日間で、今年度最後の定期テストである学年末テストを実施します。一人一人がこれまでの成果を十分に発揮することを期待しています。

進路実現や定期テストに向けて目標を立て、計画的に取り組むことは、学習内容の定着だけでなく、学習意欲や自己管理能力を育むことにもつながります。家庭学習では、自分の学習スタイルや時間の使い方を見直し、より効果的な学習方法を身につけてください。自分の強みや弱みを把握し、学習方法や日頃の学習姿勢を振り返ることで、今後の学びがさらに充実していきます。

保護者の皆様におかれましては、引き続きご家庭でも、お子様の努力を認め、励ましていただきますようお願いいたします。